

やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、ため池の水をすべて抜く「かいぼり」を、地元の子どもたちが体験したという話です。何のために水を抜くのでしょうか。



ため池の中で必死に魚を探す児童たち＝加古川市志方町原、皿池

加古川

泥まみれ生き物捕った

志方西小ため池でかいぼり

加古川市志方町原の志方西小学校に隣接する皿池で10月20日、同小児童たちが、水質浄化や外来種の防除のために水をすべて抜く「かいぼり」を体験した。児童はため池に住む生物に興奮しながら、生態系や保全について学

この日は、地域のため池協議会員や町内会連合会の役員も参加。全校児童約110人が、ため池の構造を教わりながら、学年ごとに分かれて水を抜いたため池に入った。子どもたちは泥まみれになりながら、協力して網や素手で魚を捕まえた。取れたのはタモロコやフナ、コイ、ライギョ、アメリカザリガニなど。在来種と外来種に分けて水槽に入れ、じっくりと観察した。

その後、「和亀保護の会」代表の西堀智子さん(61)が、在来種と外来種の違いや、外来種が生態系に与える影響について講話。児童は生き物についての理解を深めた。2年の青木咲樹さん(7)は「身近なため池だけど、かいぼりに入るまでどんな生き物がいるか知らなかった。エビが捕れたよ」と話した。

10月25日の朝刊にのった記事

(児玉英友)

①「かいぼり」をすると、ため池はどうなりますか

③兵庫県のため池の数は全国一です。何カ所あるか、最も広いのはどこか、「ため池」「兵庫県」「兵庫県最大」でキーワード検索してみましよう

約 カ所
 にある

④ため池は何のために造られ、誰が守ってきましたか。東播磨地域の「いなみ野ため池ミュージアム」のサイトで調べてみましょう

②子どもたちが捕まえた魚類のうち、外来種はどれですか

⑤豊かな水辺空間のため池を守るため、私たちに何ができるか考えてみましょう

答えは13日の「週刊まなびー」にのるよ。



〈作成協力・いなみ野ため池ミュージアム〉



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて11月12日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

10月30日週刊まなびー

ワークシートの
解答例

- ①但馬牛の発育などを競う目的で開かれる
- ②佐用高校で生まれ育ち、母牛やその母牛も同校生まれだから
- ③新鮮な牧草を細かく刻んだもの
- ④お尻をマッサージしたり、目鼻立ちがくっきり見えるようにバリカンで毛を刈ったりした
- ⑤但馬牛、神戸ビーフ、淡路ビーフ、三田牛、加古川和牛、黒田庄和牛、丹波篠山牛ほか